

〔畜産農家の声〕

さらなるステップアップを目指して

里庄町 平野 博子
(備中県民局 畜産班)

1 笠岡湾干拓地へ移転して5年

里庄町から笠岡湾干拓地へ畜舎を移転して5年になりました。現在、笠岡では、経産牛65頭・育成牛(初妊牛)7頭を飼養しており、里庄の古い牛舎には21頭の育成牛がいます。移転当初44頭だった経産牛を自家育成のみで増頭してきましたが、途中、牛乳の減産型生産調整で足踏みすることとなり、計画より2年遅れての目標達成です。

「この頭数を維持し、雇用は考えず、夫婦2人で後継者が一人前になるまで持ち堪えよう。後は、後継者が経営方針を立てて進んでいくのを見守り手助けする。」というのが、夫婦の共通の将来像です。安心して経営を手渡せるよう、娘が後継者として成長してくれるのを願うばかりです。

2 機械好きな夫とともに

今年、夫は49歳、私は43歳になります。若い時と同じようには働けなくなりました。そのため、年々の体の衰えは、機械化・電子化で補っていくつもりです。今まで随分と機械化・電子化しているので、「次は、どんなことを考えているのかな。」と夫の行動にドキドキ・ワクワクしています。

我が牧場を訪れた方は、必ず機械の多さに目を見張ります。鋭い方は「こんなに機械があつて過剰投資ではないか。」と質問されます。でも、トラクターや作業機はほとんどが中古で、安く引っ張ってきました。そして、使用年数は、耐用年数をはるかに超え、30年・40年前のトラクターも稼働中です。作業機の平均使用年数は15年、修理部品の保有がなく、廃車から抜き取って使うこともあります。できる限りの点検・修繕は夫が行います。油や泥まみれになって、汗を流しながら修理している姿を見ると「ご苦労様」と思

うのと同時に「牛より機械の方が好きなのね。」とってしまいます。

電子機器も酪農専用のもではなく、一般に流通している物を活用しているので安価です。機械・電気に強い夫ならではの業です。



夫自慢の機械軍団(?)

3 酪農は未だに”素人”

今年、体験発表をさせていただき、過去何十年かを振り返る良い機会となりました。結婚して、今年で20年、酪農歴は15年。15年間続けてきたにしては、酪農は未だに”素人”。3年半しか勤めていない保育士の仕事はプロ意識が根付いているのに……。

見よう見まねで一通りのことはできるようになりましたが、細かい基礎知識を頭に入れることが必要なのかなあ……。

今、さらなるステップアップを目指して、勉強を始めるチャンス



さあ 飲むんだよ!